

2015年度 高校生の就職内定実態調査（卒業時）

2016年5月18日

全日本教職員組合（全教）

全国私立学校教職員組合連合（全国私教連）

全教と全国私教連は構成組織を通じて、2016年3月に高校・障害児学校高等部を卒業した生徒の就職内定実態調査を実施しました（調査用紙は別紙）。この調査は、1994年度に第1回を行って以来22年目となります。2015年度卒業生の就職内定率は本調査開始以来最高の内定率になりました。しかし、教育現場からは、内定率だけでは伝えることのできない、内定取り消し、求人取り消し、面接時の違法質問、就職活動の長期化、自衛隊の違法な勧誘などが依然として数多く報告されています。また今回は、県外就職の実態も調査しました。調査結果から、問題点・課題点を明らかにしたいと考えています。

I 集約状況

1. 集約校数 25道府県477校から回答（内訳：公立466校、私立11校）

※去年は27道府県407校（公立388、私立19）

2. 学科・課程別の内訳（ ）内は昨年

全日制普通科 228校（178）	全日制専門科（職業科） 183校（138）	定時制・通信制 85校（53）
総合学科 55校（41）	障害児学校高等部 33校（27）	合計 584校（437）

※複数の課程を併設する学校があるため集約数とは一致しない

3. 調査対象となる生徒数

集約校の卒業生数合計 6万6735人（男子3万5694人・女子3万1041人）

※去年は6万6931人（男子3万6164人・女子3万767人）

そのうち就職希望者は2万4177人（男子1万5988人・女子8189人）

※去年は2万2420人（男子1万4714人・女子7706人）

調査対象校の就職希望者は卒業生数の36.2%（男子44.8%・女子26.4%）

※去年は33.5%（男子40.7%・女子25.0%）

II 今回の調査結果のポイント

(1) 卒業時就職内定率96.1%（男子97.3%・女子93.8%）は本調査開始以来最高になりました。しかし、内定率は道府県、男女、課程で差があります。

- ・定時制・通信制過程の就職内定率は80.4%（男子81.2%・女子78.9%）です。現場から「求人が少ない」「不登校傾向の生徒が、卒業後の就職や、進学に消極的で、進路指導が困難」「生徒の年齢も様々」「家庭事情等により全日制の普通の高校への進学ができなかった生徒もおり、企業等でそういう背景をあまり理解してくれていない」などの報告があります。また、「就職・進学以外」が16.8%（男子13.2%・女子21.6%）あり、就職できても「不安定雇用」が11.7%（男子7.5%・女子18.7%）あります。
- ・障害児学校高等部の就職内定率は93.9%（男子94.5%・女子92.7%）ですが、「就職・進学以外」が58.3%（男子55.1%・女子64.1%）となっており、内定率だけで実態を見ることは困難です。また、就職ができても不安定雇用が44.8%（男子44.8%・女子44.7%）で、現場からは「期間の定めのある求人が多い」「障害者枠では正規雇用が少ない」「実習を行った後に求人が出されることがほとんど」などの報告があり、障害児学校生徒の就職先の確保が非常に困難であり、就職できたとしてもその後の支援に大きな課題があることがいえます。

- (2) 建設、介護をはじめ、サービス、製造業の求人が増えているが、生徒の希望職種とは合っていません。
- (3) 「一度も就職試験を受けられなかった生徒」が326人(男子107人・女子219人)います。これは就職希望者の1.3%(男子0.7%・女子2.7%)です。
- (4) 高校生の就職にあってはならない不安定雇用(パート・アルバイト、期間の定めのある雇用、契約社員、派遣業、請負業など)が、1.9%441件(男子1.2%・女子3.2%)あります。高校現場からは「企業から直接求人が届く」「生徒がWEBページやフリーペーパーなどの求人雑誌で就職を探す」などの報告があります。ハローワークを通じた高校での就職では不安定雇用はありえないはずですが、「期限付き雇用での募集」などの報告も寄せられています。また、「アルバイトの継続を希望する生徒が正社員を受験していない」「契約社員で良しとする保護者の意向」などの状況もあります。
- (5) 県外に就職する割合について(今回初めて調査)、全国では15.7%(男子17.4%・女子12.2%)ですが、中国・四国・九州ブロック(28.5%)、北海道・東北ブロック(23.4%)では4人に1人、長崎(51.7%)、佐賀(49.4%)、青森(47.0%)は2人に1人が県外に就職しています。近隣の府県への就職も考えられますが、青森・京都・佐賀・長崎からは関東からの求人が増えたことが報告されています。
- (6) 7月末の進学希望者数から704人が就職(470人)・進路未定(234人)へ進路変更しました。そのうち、経済的理由は245人です。また就職希望から667人から進学(459人)・進路未定(208人)へ進路変更しました。
- (7) 内定取り消し3件、求人取り消し46件、内定・求人取り消し以外の就職ルール違反172件、自衛隊の違法勧誘が13件など、内定率だけでは伝えることのできない実態が報告されています。
- ・「家族構成・家族の仕事について」「結婚について」など面接時の違法質問はあいかわらず多い。報告以外にも高校が把握していない違法質問などのルール違反があると予想されます。佐賀からは「受験時に企業に対しての高校生に対する違法質問の内容及び面接時の規則を願書に添付」と、違法質問をなくす現場からのとりくみも報告されています。
 - ・2015年度は、大学生の就職スケジュールが変更され、大学生の採用選考開始が8月1日、内定開始が10月1日となり、高校生の選考開始及び内定開始の9月16日と接近したため、高校生の就職に影響があったとの報告がありました。
 - ・初めて高校生求人を出す企業も多く、高校生に対する「就職ルール」を理解していない企業があったとの報告もありました。
 - ・「労働条件・求人票の内容」や「選考」についてのルール違反(P.6)、就職活動の長期化(P.7)、採用の厳選化(P.8)、自衛隊の違法な勧誘(P.9)などについても現場から切実な声が寄せられています。

Ⅲ 調査結果について

1. 2015年度高校生就職内定率について

96.1%(男子97.3%・女子93.8%) ※昨年95.8%(男子97.2%・女子93.3%)

※(参考)厚生労働省調査(2016年1月末調査)	就職内定率93.6%(昨年同月比0.8ポイント増)
※(参考)文部科学省調査(2015年12月末調査)	就職内定率90.0%(昨年同月比1.2ポイント増)
	男子91.5%(同0.8ポイント増)、女子87.8%(同1.9ポイント増)

(1) 卒業時就職内定率は本調査開始以来最高になりました。2012年の93.8%から毎年微増。(参照:資料③)

(2) 就職内定率は道府県、男女、課程で差があります。

道府県 神奈川 82.2%(男子82.8%・女子81.4%) ※昨年75.1%(男子68.4%・女子83.0%)

新潟 90.0%(男子90.1%・女子89.8%) ※昨年97.5%(男子97.8%・女子96.8%)

和歌山 92.1%(男子95.3%・女子87.2%) ※昨年92.3%(男子95.6%・女子87.3%)

北海道 92.8% (男子 92.2%・女子 93.3%) ※昨年 99.0% (男子 98.5%・女子 100%)

高知 93.5% (男子 95.1%・女子 89.8%) ※昨年データなし

女子 全日制普通科女子 92.6% (昨年 91.3%)

神奈川県女子 81.4% (昨年 83.0%)、和歌山女子 87.2% (昨年 87.3%)、香川女子 89.3% (昨年 96.0%)、新潟女子 89.8% (昨年 96.8%)、高知女子 89.8% (昨年データなし)、茨城女子 90.2% (昨年 94.9%)、兵庫女子 91.7% (昨年 96.4%)、大阪女子 93.6% (昨年 90.6%)、滋賀女子 94.1% (昨年 96.1%)、

課程 定時制・通信制 80.4% (男子 81.2%・女 78.9%) ※昨年 86.2% (男子 86.1%・女 86.2%)

岐阜 4098) 定時制には求人が少なく、自分で縁故を頼るか、ハローワークに通うしかない現状。不登校傾向の生徒が、卒業後の就職や、進学に消極的で、進路指導が困難な場合がある。

滋賀 4123) 単位制通信制課程の高校で年齢も様々。また、家庭事情等により全日制の普通の高校への進学ができなくて本校に進学している生徒も少なからずおり、企業等でそういう背景をあまり理解してくれてないところもある。

2. 「就職・進学以外」について (進学でも就職でもない数。家事手伝いを除く自営・家業は「就職」)

2.6% (男子 2.1%・女子 3.3%) ※昨年 2.3% (男子 1.7%・女子 2.9%)

※定時制・通信制、障害児学校高等部は大きく上回る。

定時制・通信制 16.8% (男子 13.2%・女子 21.6%) ※昨年 13.6% (男子 9.9%・女子 17.3%)

障害児学校高等部 58.3% (男子 55.1%・女子 64.1%) ※昨年 49.3% (男子 48.7%・女子 50.5%)

3. 「一度も就職試験を受けられなかった生徒」について

326 人 (男子 107 人・女子 219 人) ※昨年 248 人 (男子 110 人・女子 138 人)

4. 不安定雇用について (パート・アルバイト、期間の定めのある雇用、契約社員、派遣業、請負業など)

1.9% 441 件 (男子 1.2%・女子 3.2%) ※昨年 2.4% (男子 1.2%・女子 4.6%)

※定時制・通信制、障害児学校高等部はこれを大きく上回る。

定時制・通信制 11.7% (男子 7.5%・女子 18.7%) ※昨年 16.3% (男子 11.6%・女子 22.0%)

障害児学校高等部 44.8% (男子 44.8%・女子 44.7%) ※昨年 23.5% (男子 19.0%・女子 30.9%)

北海道) ①介護職では給与条件も時給制を設けているところもあり、安定した雇用条件として考えられない場合がある。②一部サービス業では期限付き雇用での募集が見られる。③女子の不安定雇用は公務員の非正規の採用。④不安定雇用は接客業や看護助手のアルバイト期限付き。

長野) ①正規雇用が必ずしも良いとは言えない時代。契約社員で良しとする保護者の意向を覆せない。②女子 2 名は契約社員 (保護者の意向)。

兵庫) ①不安定雇用者は、親族の会社へアルバイトとして入社しその後正規雇用へ変わる予定。②アルバイトの継続を希望する生徒が正社員を受験していない。

岡山) ①サービス業で、契約社員の求人が増えているのでは。

5. 県外に就職する割合について

15.7% (男子 17.4%・女子 12.2%)

※近隣の府県への就職も考えられますが、県外からの求人や関東からの求人が増えたことが報告されています。

中国・四国・九州ブロック 28.5% (男子 31.9%・女子 20.2%)

北海道・東北ブロック 23.4% (男子 28.7%・女子 15.1%)

長崎 51.7% (男 50.0%・女 54.5%)、佐賀 49.4% (男 55.0%・女 37.7%)、青森 47.0% (男 51.6%・女 37.9%)

島根 42.9% (男 60.0%・女 0%)、高知 36.7% (男 39.7%・女 29.3%)、秋田 35.6% (男 32.5%・女 71.4%)、埼玉 27.2% (男 14.0%・女 40.7%)、山口 25.8% (男 32.5%・女 12.4%)、和歌山 24.6% (男 28.6%・女 18.0%)、岐阜 23.3% (男 27.6%・女 17.2%)、

青森・京都) 県外、関東の求人が多い。

岡山・山口) 県外の求人が増えた。

山口) 本年度の求人は昨年度に比べ県外からの求人が約 50%増加 (県内求人約 10%増加)。

香川) 県外就職は、愛知県の企業の障害者枠(製造)。

佐賀) ①県外企業 (特に関東など) で、サービス業、警備などからの求人が多かった。②関東地区からの求人が増加。

長崎) 関東の求人が増えたが希望する生徒がいない。

6. 7 月末の希望から進路変更の状況 (参照：資料②)

(1) 進学希望から変更 704 人が進路変更 (就職 470 人・進路未定 234 人)。そのうち経済的理由は 245 人。

(2) 就職希望から変更 667 人が進路変更 (進学 459 人・進路未定 208 人)。

7. 障害のある生徒の就職について

障害児学校高等部の卒業生数 693 人 (男子 448 人・女子 245 人) に対して、就職希望者 264 人 (男子 182 人・女子 82 人) で、就職内定率は 93.9% (男子 94.5%・女子 92.7%) となっています。しかし、就職・進学以外の人数が 404 人 58.3% (男子 247 人 55.1%・女子 157 人 64.1%) となっており、就職内定率で障害児学校全体の就職状況を分析することは困難だと思われます。また、就職ができて不安定雇用が 111 人 44.8% (男子 77 人 44.8%・女子 34 人 44.7%) となっていることは、障害児学校の生徒の就職先の確保が非常に困難であり、就職できたとしてもその後の支援に大きな課題があります。

昨年 卒業生数 590 人 (男子 390 人・女子 200 人)、就職希望者 256 人 (男子 174 人・女子 82 人)

就職内定率 96.5% (男子 95.4%・女子 98.8%)、不安定雇用 58 人 (男子 33 人・女子 25 人)

北海道) 一般就労 1 名、就労継続支援 B 型事業所 1 名。

兵庫) ①男子 2 人は正社員(製造業と事務補助的な仕事)。女子は契約社員(1 年更新・製造業)。②正社員ではなく不安定雇用の求人。③障害者枠では正規雇用が少ない。④障害者求人による就職。実習を行った後に求人が出されることがほとんど。⑤現場実習を経て求人を出していただくように依頼した。パートや契約社員であり、最賃での雇用となるため、自力が難しい。⑥障害者雇用には支援が必用な場合が多く、保護者の協力を求められる場合がある。

岡山) ①進学・就職以外は障害福祉サービスの利用が主。7 月就職希望だった男子 1 名の「進学・就職以外」は障害福祉サービスの利用へ。②障害者を対象とした求人は期間の定めのある場合が多い。

香川) 県外就職は製造業の障害者枠。県内就職は銀行事務の障害者枠。

佐賀) 清掃、介護や調理の補助の求人が他の職種より多く勤務時間はパートタイムが多い。障害者専用求人での就職

8. 高校生の就職の実態～現場の声

※全国的に建設、介護をはじめ、サービス、製造業の求人が増えた。しかし、生徒の希望職種とは合わない。

北海道) ①男子は建築が増加。全体的に求人は増加しているが、生徒の希望には偏りが見られる。②介護、建築の求人は特に多いが、本校ではその職種を希望する生徒は少なかった。③サービス (介護・ホテル) などの業の求人は多いが希望者は少ない。④介護職については求人が多いが、生徒にとってはなかなか選択肢に入ることは少ない。

青森) 介護企業の求人も多数あったが生徒や保護者が目を向けない傾向にある。

宮城) 介護職については、職員の処遇改善が、まだまだ不足している。学費、資格取得支援制度の導入など、行政のバックアップが必用ではないか。

茨城) 介護施設からの求人が多いが生徒の希望はほとんどない。

新潟) 介護、建設業など求人は多いが就職希望がほとんどいない。

長野) 製造・サービス・福祉の求人が増えたが、生徒の希望は少ない。

愛知) 求人数は非常に多くなったが、必ずしも生徒たちが希望する求人が増えたわけではない。製造・介護・飲食、県外の求人が多く、事務や販売は少ない。

兵庫) ①求人数は増加したが、普通科生徒の希望する企業は少なかった。②老人施設やホテルなどの求人が多く、生徒の希望とミスマッチがある。

岡山) 本校生徒が就職を希望する地元企業からの求人、事務、販売に関係する職種での求人は少なく、販売職では契約社員等の不安定雇用も増加している。

IV 内定・求人取り消し等の就職ルール違反について (参照: 資料②④⑤)

1. 内定取り消し 3件 (神奈川、愛知、京都) ※昨年3件・一昨年11件

神奈川) 3月中旬。職種は北海道の競走馬育成牧場のスタッフ(ハローワークに高卒求人として扱われたもの)。経営規模縮小のため大半の馬を手放すためにという理由。

愛知) 倒産したため。

京都) 生徒の状況について企業と事前に話し合い内定をいただいたが、3月になって社長が取り消し。

2. 求人取り消し 46件 (15道府県) ※昨年27件 (13道府県)

青森) 青森や八戸、弘前に本店があり、むつ市採用の求人の中で求人取消1件。

秋田) 高卒求人を出したが、8月末に問い合わせたところ中途採用したので取り下げる。

長野) 求人取り消しにより進学に変更。

和歌山) ①東京勤務のWEB求人。想定より遠方からの応募が多すぎたという理由で取りやめの連絡。②企業都合で1件。

大阪) ①希望する生徒がいたが求人票閲覧時に取り消された。会社からの謝罪があった。②経営状態の悪化のため。

兵庫) ①施設・設備の改築が急に必要になったとの理由。②二次募集の受け入れが可能であることを企業側に確認し、応募前見学に参加させたが、翌日になり企業側から求人を停止するとの連絡を受けた。③建物の改築のため求人募集停止。

岡山) 求人票が企業から送られてきた後、しばらくして特定の1校からしか採用試験を受け付けないことにしたので、求人取消の連絡があった。

佐賀) 書類提出直前のところで、求人票を取り下げる旨連絡があった。会社の事情で採用自体を見直すと説明があった。

3. 就職ルール違反 (面接時における不適切な質問や人権侵害、募集と選考における企業の横暴など)

172件 (16道府県) ※昨年は123件 (18道府県)。

(1) 違法質問など

※高校が把握していない違法質問などのルール違反があると予想されます。

家族構成・家族の仕事についての質問 (北海道・青森・宮城・長野・富山・岐阜・愛知・滋賀・京都・和歌山・大阪・兵庫・岡山・山口)、住所についての質問 (岐阜・愛知・兵庫)、本人の身体 (持病の有無・身体的特徴など) につ

いての質問（愛知・大阪）、尊敬する人物についての質問（兵庫）、結婚についての質問（宮城）、企業説明会でメールアドレスを聞かれた（兵庫）。

北海道) ①面接でしつこく「彼氏いるの？どのくらいつきあっているの？」と質問された(結局不合格)。②ある企業の面接試験の連絡時に履歴・身上調書用紙が送付されてきた。主義・信条、読んでいる新聞・雑誌・書物、生育歴、父母の職業、家計状況等の記入欄があった(管理職を通じて抗議し撤回。ハローワークにも通知し、是正を求めた)。

長野) 就職ルール違反の質問(家族構成・親の職業・家族の勤め先など)は数えられないが、かなり聞かれている。生徒は弱い立場のため、答えざるを得ない。

富山) ①面接時に「入れ墨をしているか」を尋ねた企業(県立学校課へ報告)。②生徒をばかにした態度と質問。アルバイトや部活動をしていないと言ったらバカにされた。一方的に最近の高校生の悪い点を言い(遊んでいる、ピアス、入墨)、「あなたは入墨はあるの？」。

岐阜) 「落とすがそれでもいいか」と質問され、後日こちらから辞退した。

滋賀) 面接において、不適切な質問があった。「好きなAV女優は？」。

佐賀) 受験時に企業に対しての高校生に対する違法質問の内容及び面接時の規則を願書に添付している。

(2) 労働条件・求人票の内容について

北海道) ①求人票には正社員となっていたが、面接時に契約社員だと言われた(結局不合格)。勤務地が札幌ということで話が進んでいたが突然苦小牧と言われた(親の抗議で撤回)。②履歴書等提出時に会社側より職種変更となった。4013) 労働条件で求人票とズレがある。

青森) 弘前市の企業に於いて正社員募集求人でありながら、「うちでアルバイトやってみないか。よければ正社員にする」(管轄ハローワークの学卒担当へ報告済み)。

宮城) 求人票に「固定時間外手当」「みなし残業手当」を提示する企業が増えており、「残業ありき」の労働形態が心配である

茨城) 賞与・昇給なしの求人が増えた気がする。

京都) ①残業代込みの給料表示など許されざるものが多い。②週刊誌にのっていたが、ハローワークの求人票と実際の求人票が違う企業があった(ハローワークに報告済み)。

大阪) 求人票に記載なく色覚検査が行われた。

兵庫) ハローワークを通さず、学校へ直接封書で求人案内をしてきたものが1件。

岡山) ハローワークから企業に指導があり、求人票の賃金形態の欄がほとんど「月給」と表記されるようになった。そのため、学校としては実態がわかりにくくなった(本当に月給なのかどうか)。

(3) 選考について

宮城) 応募書類を提出したが、採用試験をすること無く、書類選考で落とされ、書類が返送された。

茨城) 面接で家庭環境に関する質問、さらに求人票にない2次面接の実施。不合格生徒の自宅に直接履歴書と調査書を送付。出願後、6日経っても試験日の連絡がないため、問い合わせると忙しいのでしばらく先になるとのこと。それでは困ると催促すると、明日実施と言われる。しかも受験後10日しても結果が出ないので問い合わせると、試験の17日後に突然2次面接。さらに10日後に求人票と別施設なら合格と連絡を受ける。

神奈川) ①全日制の生徒が採用試験で冬休み中アルバイトができるかどうか質問された。内定者に対し、卒業前なのに会社に呼び出すことが少なくなかった。②定時制の生徒が会社見学後、採用試験受験前に「不採用」の電話連絡を受けた。

長野) 大手企業のオープン募集に希望が集中し、1回目の内定率が低くなった。2回目の採用試験時、応募から試験日までかなりの期間をおく企業がいくつかあり、受験者には不利益となった。10月時点での複数社受験は事実上厳しい。

大阪) 合同求人、応募期限までに応募したが、すでに選考が決定したと、受験を拒否された。

兵庫) ①阪神間就職フェアで、本校生徒がある会社に応募するも「採用試験・面接」に関する知らせが全くなく、2週間経ってしびれを切らしてこちらから連絡して問い合わせたところ、慌てて試験日を設置したようで、採用試験・面接を受けるも「採用不合格」を知らせて来ました。本校の応募者が女子で最初から女子採用の意図がなかったのではと思われる節があります。無駄な労力時間を費やすことがないように就職フェア担当者らに対処して頂きたいと思いました。②国家公務員採用試験で最終合格発表が出る前に、「内々定として面接をしたい」という官公庁から受験者に直接電話連絡があり、面接を受けました。また、内々定とは言わないけれど面接を実施した官公庁も多く有り、二学期中間考査を全く受けられませんでした。人事院の方に直接申しましたが、改善されるようには思いません。③就職フェア求人、1人2社応募した際、1社の選考日が12月中旬以降になり、もう1社が12月初旬で採用内定となった。入社承諾書などの返送期限がある場合、2社応募可能な条件をうまく活用できずに、応募辞退をしなければならない場合がある(先に内定をいただいた企業が当該生徒の第一希望であったため、特に問題とはならなかった)。

岡山) 10月末に電話で問い合わせを行い、1名の女子生徒の応募したが連絡もなく、連絡しても1カ月以上この件について担当がおらず、結局、連絡が来ないまま。生徒の方から他企業を受けたいということでハローワークの担当者と相談し、他企業を受験させました。

(4) 高校生と大学生の就職スケジュール

※2015年度は大学生の就職スケジュールが変更され、大学生の採用選考開始が8月1日、内定開始が10月1日となり、高校生の選考開始及び内定開始の9月16日と接近したため、高校生の就職に影響があったのではないかと考えらえる。

※初めて高校生求人を出す企業も多く、高校生に対する「就職ルール」を理解していない企業があったとの報告もあった。

長野) 高校生に対する「就職ルール」を熟知していない企業があり、ハローワークから企業に対しての指導を徹底したい。

愛知) 大学生を早くして、高卒と重ならないようにしてほしい。

滋賀) 職場見学時に大学生と一緒に説明をうけることがあった。今年度の後だおしの影響か。

大阪) ①初めて高校生を採用する企業が多く理解不足が見られた。②大卒求人と高卒求人との間合いが少なく担当者への違いの徹底が不十分と思われる。

兵庫) ①新参企業が多く、ハローワークの指導が徹底できていないケースが目立った。そのため県下全体でも家庭状況に関する面接での質問や、大学、短大生と共に試験を行う企業もあったと聞く。②新しく求人を出す企業が増えてきた。その中に、あまり高校求人慣れておらず、大学生や社会人に向けて要望するような条件を挙げてくるところがちらほら見うけられた。企業の認識不足だと思われる。

岡山) 好景気の影響で初めて高卒採用を計画される企業が増えた。そのため、高卒採用のルール(求人時期、応募の仕組み、内定後の日程など)を理解されていない企業も数社あった。

(5) 就職活動の長期化

北海道) ①9月5日より受付、選考日は9月16日以降随時とあったが、選考日が10月22日に先延ばしされた。②試験から発表までの期間が長い(3社)。出願から選考日まで50日(1社)。③いつまでも面接日時が来なかったり、応募してから1ヶ月待たされたところ。

青森) ①9月応募、10月1次・11月2次・3次試験があり、決定が12月の会社。②合否結果まで19日間かかった(1件)。

宮城) ①求人票記載の採用決定期日を過ぎても、採用通知を出さない企業があり、生徒が拘束されて迷惑であった。求人票記載の選考方法と異なる選考が行われ、受験した生徒が迷惑した。

長野) ①試験日が10月に入ってから。②採用試験の長期化(面接が2回)。③試験から結果が出るまで1ヶ月

月近くかかる企業などがあり、生徒の心配や次の指導にうつるタイミングがたいへんだった。④9月受付から10月中旬まで2次テストで引っ張られて不採用となり、他の会社受験で苦労した。

愛知) 就職試験の一次試験から内定が出るまで、1ヵ月以上かかったのが2件。その間、何度も試験や見学や面接があり出向いた。生徒の負担が大きかった。

京都) 選考から採否まで1ヵ月以上。

和歌山) ①9月後半の連休の関係か、応募から選考・結果まで長びく事務所があった。) ②1回目の採用試験が10月末。③2次試験がある企業で試験日までの日が2週間以上あく企業。

大阪) 1次選考が10月に入って行われる。

兵庫) ①9/4に応募書類を送したが選考が10月に入ってから(3件)。②若干の企業が1次・2次と試験を分け結果までの期日が高い。

山口) 試験が10月以降に実施。

※ 厚生労働省「新規学校卒業者の採用に関する指針」により、「事業主は、募集採用活動を実施するに当たっては、学生・生徒の就職活動の無秩序化による重複内定が誘発されないためにも、定められた採用選考開始の期日を遵守する等秩序を保つよう努めるものとする」とあります。高校生の採用選考開始の期日は通例9月中旬で、9月中の選考試験後、1週間で結果通知というスケジュールが関係者の合意になっていました。

(6) 採用の厳選化

埼玉) ①二次面接を行う企業が増え、厳選採用の傾向も感じている。②2次・3次と試験を課す会社が増えてきた。

長野) ①企業に高校生を育てるという意識がないため、良い子ならば採るという姿勢が目立った。②求められる水準が年々向上している気がする。

愛知) 企業が望む人材として、従来のコミュニケーション能力・協調性に加え、苦労した生徒(部活動等で苦しい経験をし、それを乗り越えてきた生徒)を望む企業が多くなっている。

和歌山) 採用試験について、二次面接や三次面接を行う企業が多くなってきたと感じる。

兵庫) ①求人数は確かに大きく増加しているが、突然2次試験を課す企業が4社あり、内1社は悪質であった。指定校求人(本校2名)で絶対的自信を持って2名を送り出したが、社長の一声で1名が2次で不採用となった。「絶対に通します」との企業側担当者の言葉だったが。②多くの企業が応募前見学を取り入れ、適性検査的なことを取り入れているところもある(厳選化?)。

山口) 求人票の労働条件において、賞与の記載(昨年度実績)がないものがある。

香川) 企業は、採用予定人数がいくら多くても、基準に達しなければ採用しないという、厳選採用をする傾向を強めている。

※ 厚生労働省「新規学校卒業者の採用に関する指針」により、「事業主は、採用選考を行うに当たっては、学生・生徒の適性、能力に基づき適正に実施するよう努めるものとする」とあります。高校生に対しては高校生としての能力に基づき選考を実施すべきであり、即戦力や高度なコミュニケーション能力などを判断材料にすることは妥当性はありません。

(7) その他

北海道) 道教委から「卒業後アルバイト等に従事する者は就職希望者から外せ」と事務連絡文書(メール)で「指導」があった。

神奈川) 全日制の生徒が採用試験で冬休み中アルバイトができるかどうか質問された。内定者に対し、卒業前なのに会社に呼び出すことが少なくなかった。

長野 4072) 家庭の経済状況により進学から就職への変更が多かった。経済格差は広がり深刻になってきている。

愛知) 年を越えて就職に変更したもの(主に経済的理由)への対応は困難。ハローワークなどもそれに見合う体制となっていない。

佐賀) 来年度から就職支援員の方が県内のすべての就職を希望する高校に配置がなくなり、特に本校のように就職を指導できる先生が少なく、授業担当と就職指導(企業訪問、来客)の両面では負担が大きいので是非、就職支援員の配置をお願いいたします。

4. 自衛隊の違法な勧誘 13件(8道府県) ※昨年7件(4道県)

北海道) ①自衛隊からは「おたくの高校に自衛官が親の生徒が4人いる」と4月のはじめに言われた。「それは個人情報なので言えません」と返答したが、その後行く気もない生徒は家庭訪問をうけて2人受験した。自衛隊はとにかく学校へ来る。②自衛隊が住民基本台帳の開示をして、男子生徒10名の家庭訪問をおこなっていた。

青森) 自衛隊説明会は適宜行っている。

和歌山) 自衛隊が家まで勧誘に来て、生徒、保護者が困った(すぐに自衛隊に連絡し、やめてもらった)。

兵庫) 9/16以前の自衛隊の勧誘が何度もあり家族が困惑した。5115) 自衛隊は願書ももらいに行った者に対し、直接連絡、説明会を行っていた。

V 高校生の未来を保障するために～安定した雇用を保障するために実効ある対策を～

高校生の就職保障のために実効ある対策が必要です。厚生労働省はじめ関係省庁には次の対策をとるよう求めます。

- (1) 卒業後も未就職となった新卒者に対して、就職が決まるまで就労支援をするよう自治体に対して指導すること。また、失業給付の支給などの特例措置の実施や求職者支援法を充実・改善するなど、未就職者対策を抜本的に強化すること。
- (2) 求人の拡大に向けていっそうの努力を行うこと。とくに大企業が積極的に求人を出して雇用に対する社会的責任を果たすよう、政府は指導性を発揮すること。
- (3) 高校生の求人の多くを担っている中小企業の支援策を強化すること。
- (4) 高校生の就職支援を強化するため、就職支援員の増員や期間の延長を図ること。
- (5) 高校・大学生の就職における人権侵害を根絶し、就職ルールの確立に向けたとりくみを強化すること。「新規学校卒業者の採用に関する指針」の内容を発展させて、新卒者の就職ルールの法整備をはかること。
- (6) 離職率の高い企業に対し、企業名の公表も含めた指導を強化すること。
- (7) 「勤労青少年福祉法等の一部を改正する法律(青少年の雇用の促進等に関する法律)」を実効性のあるものとし、「ブラック企業」に対する規制を強化すること。
- (8) 厚生労働省の「知って役立つ労働法～働くときに必要な基礎知識～」や全労連作成の「2016年度権利手帳」、自治体作成のハンドブックなどを活用して、高校生に対して労働法や働くルールの学習をすすめること。高校生や教職員などからの相談窓口の体制を強化すること。
- (9) 求人票の内容を調査し、労働基準法や男女雇用機会均等法などに違反するものを是正すること。
- (10) 自衛隊の就職ルール違反については是正指導をおこなうこと。

以上

2015年度 高校生の就職内定実態調査用紙 (卒業時)

都道府県名 () 学校名 ()

記入者 () 記入者連絡先 (TEL)

※ 「1～3」の問いについては必ずご記入ください。

1. 課程別の就職希望者数と内定者数 (卒業時)

次の①～⑤の課程分類に従って表の「課程分類」欄に数字を記入してください。

①全日制普通科 ②全日制専門科 (職業科) ③定時制・通信制 ④総合学科 ⑤障害児学校高等部

課程分類	性別	就職希望者数 (卒業時) A=B+C	就職内定者数 (卒業時) =B	就職未内定者数 =C	進学希望者 =D	進学・就職 以外の人数 =E ※1	卒業者数 F=A+D+E	県外就職 の人数	就職内定者の うち不安定雇 用の人数 ※2	一度も就職試 験を受けられ なかった人数

- *1 「進学・就職以外」とは、進路希望が進学でも就職でもない生徒の数。家事手伝いを除く自営・家業は「就職」。
*2 「不安定雇用」とは、パート・アルバイト、半年などの期間の定めのある雇用、契約社員、派遣、請負など。また、斡旋先などわかる範囲で「5」の記述欄にご記入ください。

2. 就職ルール違反について (○印と数字を)

内定取消	有・無	件
求人取消	有・無	件
その他の「就職ルール」違反※3	有・無	件
自衛隊の勧誘に関する問題 ※4	有・無・不明	件

※ 「就職ルール違反について」の詳細と対応など、わかる範囲で「5」の記述欄にご記入ください。

*3 その他の「就職ルール」違反とは、面接時における不適切な質問や人権侵害、募集と選考における企業の横暴など。

*4 9月15日以前の勧誘、家庭訪問など学校を通さない勧誘、説明会の開催要請など。

3. 進路変更の状況について

進路変更 (7月時点 の希望か ら卒業時 点の進路 変更)	①進学→就職	人
	②進学→進路未定	人
	※①②のうち経済的理由によるもの	人
	③就職→進学	人
	④就職→進路未定	人
	⑤進路未定→就職	人
	⑥進路未定→進学	人

4. 求人内容 (職種・労働条件等) の特徴等

5. 内定・求人取消の詳細、違法質問、長期化、厳選化など就職の実態について

課程	就職ルール違反(件数)				進路変更について(人数)						
	内定 取消	求人 取消	左以外 の 違反	自衛隊 に関する 違反	進学から		左のうち 経済的 理由で	就職から		進路未定から	
					就職 (J)	進路未定 (K)		進学	進路未 定	就職	進学
全日制普通科	0	18	69	7	217	146	113	214	100	46	32
全日制専門科(職業科)	0	15	77	5	141	30	61	171	29	20	26
定時制・通信制	1	5	18	0	50	33	40	12	49	21	5
総合学科	2	8	8	1	59	24	31	61	25	15	4
障害児学校高等部	0	0	0	0	3	1	0	1	5	1	0
合計	3	46	172	13	470	234	245	459	208	103	67

ブロック	就職ルール違反(件数)				進路変更について(人数)						
	内定 取消	求人 取消	左以外 の 違反	自衛隊 に関する 違反	進学から		左のうち 経済的 理由で	就職から		進路未定から	
					就職 (J)	進路未定 (K)		進学	進路未 定	就職	進学
北海道・東北	0	14	22	2	70	6	31	69	25	6	23
関東・甲越	1	2	4	0	50	45	33	20	38	21	7
北陸・中部・東海	1	6	69	1	71	27	28	39	27	3	3
近畿	1	22	67	7	213	137	122	214	90	58	27
中国・四国・九州	0	2	10	3	66	19	31	117	28	15	7
合計	3	46	172	13	470	234	245	459	208	103	67

地域	道府県	就職ルール違反(件数)				進路変更について(人数)						
		内定 取消	求人 取消	左以外 の 違反	自衛隊 に関する 違反	進学から		左のうち 経済的 理由で	就職から		進路未定から	
						就職 (J)	進路未定 (K)		進学	進路未 定	就職	進学
北・東	北海道	0	11	3	2	42	3	19	38	14	5	18
	青森	0	1	1	0	13	2	4	16	5	1	1
	秋田	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0
	宮城	0	1	18	0	14	1	8	13	6	0	4
関・甲	茨城	0	2	0	0	15	2	8	7	4	4	0
	埼玉	0	0	0	0	13	2	9	4	2	5	5
	神奈川	1	0	4	0	20	38	15	6	24	10	2
	新潟	0	0	0	0	2	3	1	3	8	2	0
北・中・東	長野	0	4	37	1	0	0	0	0	0	0	0
	静岡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	富山	0	1	13	0	12	7	8	6	16	1	0
	岐阜	0	0	2	0	23	6	8	7	0	2	2
	愛知	1	1	17	0	36	14	12	26	11	0	1
近畿	滋賀	0	1	1	3	7	3	5	15	5	0	0
	京都	1	4	22	1	15	8	11	19	5	1	0
	和歌山	0	3	5	1	69	10	27	64	41	23	15
	大阪	0	4	10	0	46	9	37	24	12	14	5
	兵庫	0	10	29	2	76	107	42	92	27	20	7
中・四・九	岡山	0	1	3	0	43	12	24	61	22	14	5
	島根	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	山口	0	0	4	0	14	1	4	29	0	0	0
	香川	0	0	0	0	3	2	1	0	0	0	0
	高知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	佐賀	0	1	3	2	3	4	2	21	5	1	2
	長崎	0	0	0	1	3	0	0	6	1	0	0
合計	3	46	172	13	470	234	245	459	208	103	67	

高校生の就職内定率の推移(卒業時)

